

皆様おはようございます。

金曜日には思った以上の降雪がありました。寒い中お元気でいらっしゃいましたか。

いよいよ黙示録も後残すところ3章となりました。

罪深い世への神様の最後の裁きが行われようとしています。

今日の個所に、「おのおのそのしわざに応じて、さばきを受けた。」とあります。

そうすれば一体、誰が裁かれずにいられましょうか。すべての人が裁きを受け、有罪の宣告を受けなければなりません。硫黄と火の燃える池に投げ込まれなければなりません。

イエス様はルカ12章の所でこう話されました。

12:1 その間に、おびただしい群衆が、互に踏み合うほどに群がってきたが、イエスはまず弟子たちに語りはじめられた、「パリサイ人のパン種、すなわち彼らの偽善に気をつけなさい。

12:2 おおいかぶされたもので、現れてこないものはなく、隠れているもので、知られてこないものはない。

12:3 だから、あなたがたが暗やみで言ったことは、なんでもみな明るみで聞かれ、密室で耳にささやいたことは、屋根の上で言いひろめられるであろう。

12:4 そこでわたしの友であるあなたがたに言うが、からだを殺しても、そのあとでそれ以上なにもできない者どもを恐れるな。

12:5 恐るべき者がだれであるか、教えてあげよう。殺したあとで、更に地獄に投げ込む権威のあるかたを恐れなさい。そうだ、あなたがたに言っておくが、そのかたを恐れなさい。

12:6 五羽のすずめは二アサリオンで売られているではないか。しかも、その一羽も神のみまえで忘れられてはいない。

12:7 その上、あなたがたの頭の毛までも、みな数えられている。恐れることはない。あなたがたは多くのすずめよりも、まさった者である。

12:8 そこで、あなたがたに言う。だれでも人の前でわたしを受けいれる者を、人の子も神の使たちの前で受けいれるであろう。

12:5 恐るべき者がだれであるか、教えてあげよう。殺したあとで、更に地獄に投げ込む権威のあるかたを恐れなさい。そうだ、あなたがたに言っておくが、そのかたを恐れなさい。これは恐ろしい言葉です。

マタイ19:16 すると、ひとりの人がイエスに近寄ってきて言った、「先生、永遠の生命を得るためにには、どんなよいことをしたらいいでしょうか。」

19:17 イエスは言われた、「なぜよい事についてわたしに尋ねるのか。よいかたはただひとりだけである。もし命に入りたいと思うなら、いましめを守りなさい。」

19:18 彼は言った、「どのいましめですか」。イエスは言われた、「『殺すな、姦淫するな、盜むな、偽証を立てるな。

19:19 父と母とを敬え』。また『自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ』」。

19:20 この青年はイエスに言った、「それはみな守ってきました。ほかに何が足りないのでしょう」。

19:21 イエスは彼に言われた、「もしあなたが完全になりたいと思うなら、帰ってあなたの持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、わたしに従ってきなさい」。

19:22 この言葉を聞いて、青年は悲しみながら立ち去った。たくさんの資産を持っていたからである。

19:23 それからイエスは弟子たちに言われた、「よく聞きなさい。富んでいる者が天国にはいるのは、むずかしいものである。

19:24 また、あなたがたに言うが、富んでいる者が神の国にはいるよりは、らくだが針の穴を通る方が、もっとやさしい」。

19:25 弟子たちはこれを聞いて非常に驚いて言った、「では、だれが救われることができるのだろう」。

19:26 イエスは彼らを見つめて言われた、「人にはそれはできないが、神にはなんでもできない事はない」。

本当に、金持ちの青年に限らず、すべての人にとって、救われるとは、神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しいのです。

「では、だれが救われができるのだろう」、「人にはそれはできないが、神にはなんでもできない事はない」のです。

「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」 ヨハネ 1:29

イエス様は人間がどうにもこうにも出来ないことを成してくださいました。その実と命とを犠牲にして、それを成してくださいました。主の御名をあがめます。

2月26日からは受難節が始まります。この黙示録に記してありますすべての裁きを免れさせるために神様は御子イエス・キリストを捧げて下さいましたことを心に留めながら、黙示録を読み進めていきたいと願います。

1 またわたしが見ていると、ひとりの御使が、底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手に持つて、天から降りてきた。

2 彼は、悪魔でありサタンである龍、すなわち、かの年を経たへびを捕えて千年の間つなぎ

おき、

3 そして、底知れぬ所に投げ込み、入口を閉じてその上に封印し、千年の期間が終るまで、諸国民を惑わすことがないようにしておいた。その後、しばらくの間だけ解放されることになっていた。

諸国民を惑わす者、それが悪魔でありサタンである龍、すなわち、かの年を経たへびです。イエス様は「小さい者のひとりをつまずかせる者は、大きなひきうすを首にかけられて海の深みに沈められる方が、その人の益になる」と語られました。迷えるものを探し出して救うためにご自分は来られたと語られました。イエス様は失われたご自身の小羊を救うためにご自身の命さえ惜しまずに捧げるお方です。しかし悪魔はそれとは反対です。

マタイ 18:1 そのとき、弟子たちがイエスのもとにきて言った、「いったい、天国ではだれがいちばん偉いのですか」。

18:2 すると、イエスは幼な子を呼び寄せ、彼らのまん中に立たせて言われた、

18:3 「よく聞きなさい。心をいれかえて幼な子のようにならなければ、天国にはいることはできないであろう。

18:4 この幼な子のように自分を低くする者が、天国でいちばん偉いのである。

18:5 また、だれでも、このようなひとりの幼な子を、わたしの名のゆえに受けいれる者は、わたしを受けいれるのである。

18:6 しかし、わたしを信ずるこれらの小さい者のひとりをつまずかせる者は、大きなひきうすを首にかけられて海の深みに沈められる方が、その人の益になる。

18:7 この世は、罪の誘惑があるから、わざわいである。罪の誘惑は必ず来る。しかし、それをきたらせる人は、わざわいである。

18:8 もしあなたの片手または片足が、罪を犯させるなら、それを切って捨てなさい。両手、両足がそろったままで、永遠の火に投げ込まれるよりは、片手、片足になって命に入る方がよい。

18:9 もしあなたの片目が罪を犯させるなら、それを抜き出して捨てなさい。両眼がそろったままで地獄の火に投げ入れられるよりは、片目になって命に入る方がよい。

18:10 あなたがたは、これらの小さい者のひとりをも軽んじないように、気をつけなさい。あなたがたに言うが、彼らの御使たちは天にあって、天にいますわたしの父のみ顔をいつも仰いでいるのである。

18:11 [人の子は、滅びる者を救うためにきたのである。]

18:12 あなたがたはどう思うか。ある人に百匹の羊があり、その中の一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、その迷い出ている羊を捜しに出かけないであろうか。

18:13 もしそれを見つけたなら、よく聞きなさい、迷わないでいる九十九匹のためよりも、むしろその一匹のために喜ぶであろう。

18:14 そのように、これらの小さい者のひとりが滅びることは、天にいますあなたがたの父のみこころではない。

19:13 そのとき、イエスに手をおいて祈っていただくために、人々が幼な子らをみもとに連れてきた。ところが、弟子たちは彼らをたしなめた。

19:14 するとイエスは言われた、「幼な子らをそのままにしておきなさい。わたしのところに来るのをとめてはならない。天国はこのような者の国である」。

19:15 そして手を彼らの上においてから、そこを去って行かれた。

ヨハネ 10:1 よくよくあなたがたに言っておく。羊の囲いにはいるのに、門からでなく、ほかの所からのりこえて来る者は、盗人であり、強盗である。

10:2 門からはいる者は、羊の羊飼である。

10:3 門番は彼のために門を開き、羊は彼の声を聞く。そして彼は自分の羊の名をよんで連れ出す。

10:4 自分の羊をみな出してしまった、彼は羊の先頭に立って行く。羊はその声を知っているので、彼について行くのである。

10:5 ほかの人には、ついて行かないで逃げ去る。その人の声を知らないからである」。

10:6 イエスは彼らにこの比喩を話されたが、彼らは自分たちにお話しになっているのが何のことだか、わからなかった。

10:7 そこで、イエスはまた言われた、「よくよくあなたがたに言っておく。わたしは羊の門である。

10:8 わたしよりも前にきた人は、みな盗人であり、強盗である。羊は彼らに聞き従わなかった。

10:9 わたしは門である。わたしをとおってはいる者は救われ、また出入りし、牧草にありつくであろう。

10:10 盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにはかならない。わたしがきたのは、羊に命を得させ、豊かに得させるためである。

10:11 わたしはよい羊飼である。よい羊飼は、羊のために命を捨てる。

10:12 羊飼ではなく、羊が自分のものでもない雇人は、おおかみが来るのを見ると、羊をすべて逃げ去る。そして、おおかみは羊を奪い、また追い散らす。

10:13 彼は雇人であって、羊のことを心にかけていないからである。

10:14 わたしはよい羊飼であって、わたしの羊を知り、わたしの羊はまた、わたしを知っている。

10:15 それはちょうど、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。そして、わたしは羊のために命を捨てるのである。

小さきものを惑わして道を誤らせるものは災いです。悪魔は惡意をもって、敵意をもって、人に対して憎みに満ちた業を行い、人と人の世を混乱を与えます。それゆえ、神様は、3 節にありますように、「底知れぬ所に投げ込み、入口を閉じてその上に封印し、千年の期間が終るまで、諸国民を惑わすことがないようにして」おかれのです。

しかし最後のさばきを前に、「しばらくの間だけ解放されることに」なっていました。ここで千年の後外に出されて後、いよいよ悪魔の本性が変わらないものかどうかが見極められ、そして最後の裁きに至るのです。

4 また見ていると、かず多くの座があり、その上に人々がすわっていた。そして、彼らにさばきの権が与えられていた。また、イエスのあかしをし神の言を伝えたために首を切られた人々の靈がそこにおり、また、獸をもその像をも拝まず、その刻印を額や手に受けることをしなかった人々がいた。彼らは生きかえって、キリストと共に千年の間、支配した。

5 (それ以外の死人は、千年の期間が終るまで生きかえらなかった。) これが第一の復活である。

6 この第一の復活にあずかる者は、さいわいな者であり、また聖なる者である。この人たちは、第二の死はなんの力もない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストと共に千年の間、支配する。

さてキリスト者たちはどうでしょうか。「イエスのあかしをし神の言を伝えたために首を切られた人々の靈がそこに」ありました。

「また、獸をもその像をも拝まず、その刻印を額や手に受けることをしなかった人々がいた。彼らは生きかえって、キリストと共に千年の間、支配」します。

これらの人たちは迫害の中第一の死を遂げましたが、彼らは生き返ってキリストと共に千年もの間支配します。惑わす者が穴の中に投げ込まれ、「イエスのあかしをし神の言を伝えたために首を切られ」るほどの忠実なもの、また、獸をもその像をも拝まず、その刻印を額や手に受けることをしなかった人々はキリストと共に千年の間支配します。

2 ペテロ 3:8 愛する者たちよ。この一事を忘れてはならない。主にあっては、一日は千年のようであり、千年は一日のようである。

3:9 ある人々がおそいと思っているように、主は約束の実行をおそくしておられるのではない。ただ、ひとりも滅びることがなく、すべての者が悔改めに至ることを望み、あなたがたに対してながく忍耐しておられるのである。

3:10 しかし、主の日は盗人のように襲って来る。その日には、天は大音響をたてて消え去り、天体は焼けてくずれ、地とその上に造り出されたものも、みな焼きつくされるであろう。

3:11 このように、これらはみなくずれ落ちていくものであるから、神の日の到来を熱心に待ち望んでいるあなたがたは、

3:12 極力、きよく信心深い行いをしていなければならない。その日には、天は燃えくずれ、天体は焼けうせてしまう。

3:13 しかし、わたしたちは、神の約束に従って、義の住む新しい天と新しい地とを待ち望んでいる。

3:14 愛する者たちよ。それだから、この日を待っているあなたがたは、しみもなくきずもなく、安らかな心で、神のみまえに出られるように励みなさい。

3:15 また、わたしたちの主の寛容は救のためであると思いなさい。

ここにも主の深いご配慮があります。「それ以外の死人は、千年の期間が終るまで生きかえらなかつた。」とありますから、ここで生きているのはキリストにある聖者のみであろうとは思いますが、最後の裁きに至るまでの神様の深いご配慮であると考えます。それがいつかは分かりません。しかし主の時は突然やって来ます。遅いのではなく、救いの憐れみのために猶予が与えられているのです。

1 ペテロ 2:9 しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。

2:10 あなたがたは、以前は神の民でなかったが、いまは神の民であり、以前は、あわれみを受けたことのない者であったが、いまは、あわれみを受けた者となっている。

7 千年の期間が終ると、サタンはその獄から解放される。

8 そして、出て行き、地の四方にいる諸国民、すなわちゴグ、マゴグを惑わし、彼らを戦いのために召集する。その数は、海の砂のように多い。

9 彼らは地上の広い所に上ってきて、聖徒たちの陣営と愛されていた都とを包囲した。すると、天から火が下ってきて、彼らを焼き尽した。

10 そして、彼らを惑わした悪魔は、火と硫黄との池に投げ込まれた。そこには、獣もにせ預言者もいて、彼らは世々限りなく日夜、苦しめられるのである。

千年の期間が終わってもなお、サタンは心を入れ替えず、またも産みの砂のようにおびただしく多い諸国民を惑わして神様に反逆させ戦いを仕掛けようとしていますが、天から火が下つて焼き尽くされました。

11 また見ていると、大きな白い御座があり、そこにいますかたがあった。天も地も御顔の前から逃げ去って、あとかたもなくなった。

12 また、死んでいた者が、大いなる者も小さき者も共に、御座の前に立っているのが見えた。かずかずの書物が開かれたが、もう一つの書物が開かれた。これはいのちの書であった。死人はそのしわざに応じ、この書物に書かれていることにしたがって、さばかれた。

13 海はその中にいる死人を出し、死も黄泉もその中にいる死人を出し、そして、おのおのそのしわざに応じて、さばきを受けた。

14 それから、死も黄泉も火の池に投げ込まれた。この火の池が第二の死である。

15 このいのちの書に名がしるされていない者はみな、火の池に投げ込まれた。

いのちの書には二通りのことが記されてあります。一つには各人の仕業、次には救われるべきものの名です。

しかしどうでしょう。私たちイエス様の贖いを受けている者でも、つまびらかに一つ一つその仕業を朗読されたら、11節にありますように、主のみ顔から逃げて、跡形もなくなってしまうのではないか。

ヨハネ 3:16 神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためにある。

3:17 神が御子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、御子によって、この世が救われるためである。

3:18 彼を信じる者は、さばかれない。信じない者は、すでにさばかれている。神のひとり子の名を信じることをしないからである。

3:19 そのさばきというのは、光がこの世にきたのに、人々はそのおこないが悪いために、光よりもやみの方を愛したことである。

3:20 悪を行っている者はみな光を憎む。そして、そのおこないが明るみに出されるのを恐れて、光にこようとはしない。

3:21 しかし、真理を行っている者は光に来る。その人のおこないの、神にあってなされたということが、明らかにされるためである。

コロサイ 1:13 神は、わたしたちをやみの力から救い出して、その愛する御子の支配下に移して下さった。

1:14 わたしたちは、この御子によってあがない、すなわち、罪のゆるしを受けているので

ある。

しかし主のゆえに神様に感謝いたします。その仕業が明らかになれば主の前に立ちおおせない私たちを、神様は恵みのゆえに、キリスト・イエスに酔って救い出してくださいました。そしてその命の書に私たちの名を記してくださったのです。これは神様の一方的な憐れみです。

私たちはこの憐れみを頂いて、「選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべき光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。あなたがたは、以前は神の民でなかったが、いまは神の民であり、以前は、あわれみを受けたことのない者であったが、いまは、あわれみを受けた者となっている。」との御言葉の通り、いつまでもこの神様の救いの御業とイエス様と神様の言葉を、時が良くとも悪くとも伝えて行こうではありませんか。

◇祈祷；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。すずめの一羽さえお忘れにならないお方が、「あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられている。恐れるな。あなたがたは、たくさんの雀よりもはるかにまさっている。」と語って下さり、ありがとうございます。行いに応じて裁かれれば立つ瀬がありませんが、愛する御子の贖いによってただ無条件に、無償の恵みにて私たちの名が命の書に、救われるべき名として書かれていますことに唯々感謝いたします。子供からお年寄りまで、あらゆる年齢の方々が、この時こそ教会にて、イエス・キリストに出会うことができますようにお願いいたします。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン